

MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪) で実施する各種施策について

ものづくりビジネスセンター大阪

大阪府商工労働部中小企業支援室
ものづくり支援課
公益財団法人大阪産業局
MOBIO事業部



1.大阪のものづくりの歴史

- 8世紀～:河内鑄物師(かわちいもじ)。
全国シェア8割。奈良や鎌倉の大仏。

【近代～現代】

- 綿花→紡績→繊維産業
- 造船。マッチ、肥料など化学工業。製薬。
- 第一大戦後=「東洋のマンチェスター」
- 第二次大戦後
堺泉北臨海工業地帯に化学、エネルギー。
大手家電メーカーによる機械金属工業

【工業集積】

- 東大阪地域
生駒山→流水→水車→伸線業→ネジ、ベアリング
大阪砲兵工廠付近の金属加工業者らが空襲で移転
- 泉州地域
繊維産業。堺:刃物、線香、注染。自転車。
- 北河内地域:パナソニック(三洋)の企業城下町

大阪ものづくりMAP



2. 大阪のものづくり中小企業の現状 ～構造

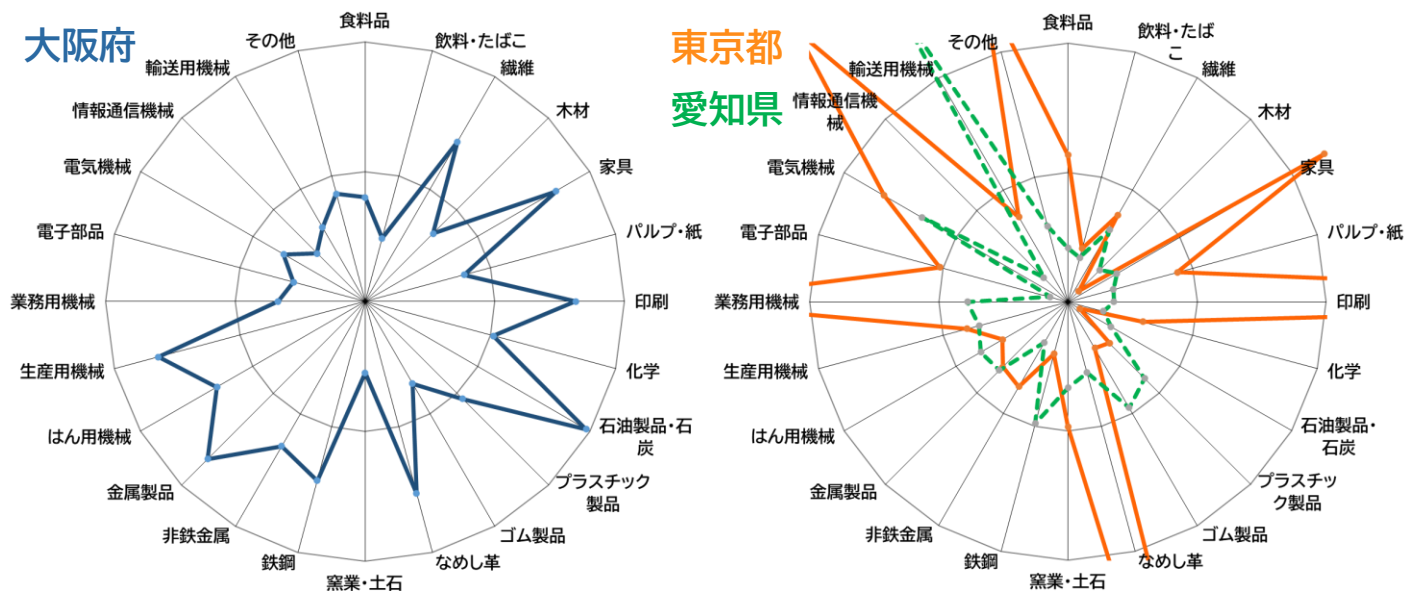
高い集積

- 事業所数 18,020 全国2位
(全国計:220,912 ①愛知:18,248 ③東京:14,861)
- 従業者数 425,600 全国2位
(全国計:7,560,044 ①愛知:815,704 ③静岡:406,032)

中小企業の街

- 中小規模企業※の製造品出荷額 9.6兆円
- 全出荷額に占める割合56.2%(府全出荷額約17.1兆円)
[全国:48.9% 東京都:61.2% 神奈川県:44.3%]
(※中小規模企業とは、従業員規模299人以下の企業)

フルセット型の集積



3. 大阪府のものづくり支援体制

2つの拠点でものづくり中小企業を支援

■ MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)

ものづくり中小企業の総合支援拠点

・主な支援メニュー

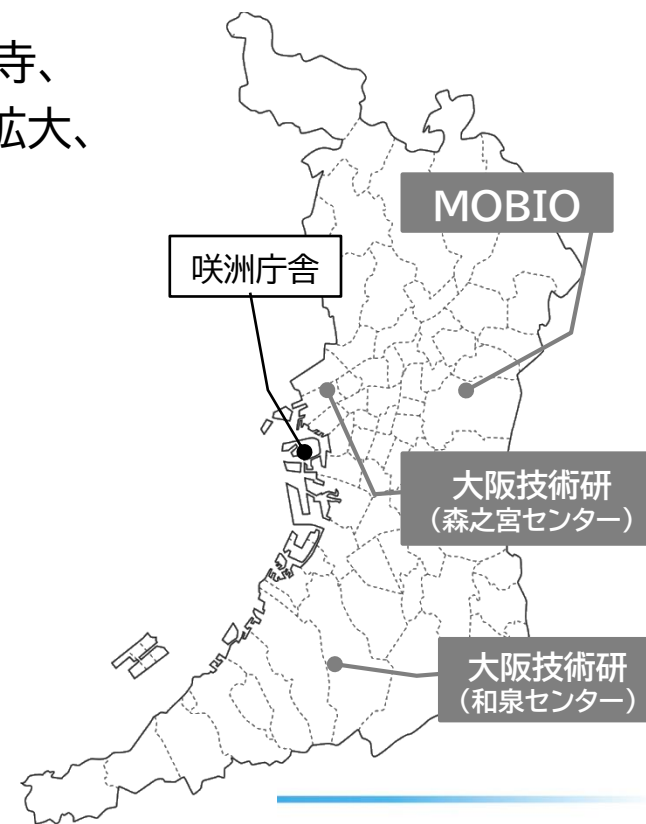
常設展示場、産学連携相談、知的財産相談、下請かけこみ寺、
ビジネスマッチング、ものづくりイノベーション支援、販路拡大、
MOBIO-cafe

※R3年度より、ものづくり支援事業の一部を公益財団法人
大阪産業局へ移管。

■ 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所

・技術的な支援を中心に実施

・技術相談、機器の共同利用、試験・評価分析、共同研究



4. MOBIO ご紹介



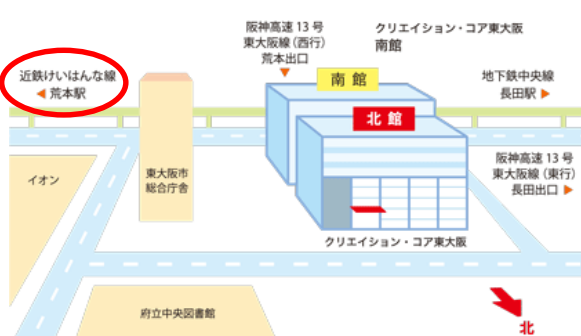
MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)

国内最大級の常設展示場をはじめ、ビジネスマッチング、販路開拓、産学連携相談、知的財産活用、セミナー開催などを行う「府内ものづくり中小企業の総合支援拠点」です。
(大阪府、大阪産業局による連携運営)

東大阪市にある「クリエイション・コア東大阪」にあります。



※クリエイション・コア東大阪は、(独)中小企業基盤整備機構が全国に整備した29か所の施設のうちの2つ。H15北館、H16南館開館



国内最大級 約200ブースのものづくり企業の常設展示場があり、専任のコーディネーターによるビジネスマッチングや視察の受け入れ また、館内で各種セミナー、交流会、支援事業を行っています。

また、個々の企業展示だけでなく、各種「企画展」も行っています。



5. 施設の運営体制（クリエイション・コア東大阪全体）

クリエイション・コア東大阪(北館・南館)



○独立行政法人中小企業基盤整備機構

- クリエイション・コア東大阪 土地・建物の管理
- インキュベーションオフィス・ラボの運営 - **約20のものづくり企業等が入居(オフィス・ラボ)**

連携

○ 公益財団法人大阪産業局 MOBIO事業部

- ビジネスマッチング、産学連携相談、知財活用支援事業及び
常設展示場及びインキュベーションオフィスの運営管理、情報受発信事業の実施
(R3年度より、府のものづくり支援事業の一部を大阪産業局へ移管)



ものづくりビジネスセンター大阪
Monodzukuri Business Information-center Osaka

(北館1F・2F)

○ 大阪府 商工労働部 中小企業支援室 ものづくり支援課

- 「大阪ものづくり優良企業賞」認証、「大阪製ブランド」認定、
ものづくりイノベーション支援助成金事業などの実施

連携

・MOBIO産学連携オフィス（南館2Fの一部）

- 大学関係者の集まるシェアオフィス
- セミナー、講演、会議等を行う、セミナールーム、面談室



○公益財団法人東大阪市産業創造勤労者支援機構

- 南館3F クリエイターズプラザ(貸しホール・会議室)の運営
- 常設展示場出展補助及びインキュベーション入居助成
- 自主事業(セミナー、各種相談等)の実施



国内最大級200ブースの常設展示場に
中小企業の最新技術・製品を展示。
ビジネスマッチングの場として国内外より
多数の方々に来場いただいています。
御社の「探したい」を専任のコーディネーター
がお探しします。
また、ホームページ、SNSを通じて最新
の企業情報を発信しております。

いろんな活用法が
あるのよ

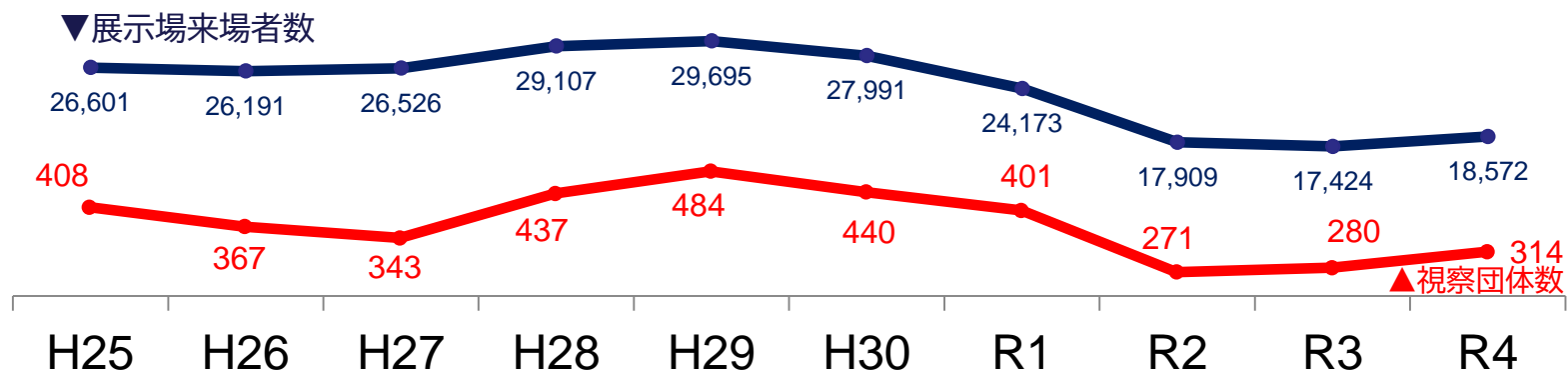


案内を希望されない
場合、予約は不要です



開館時間: 9時~17時
休館日: 毎週土・日曜日・祝祭日・年末年始
ブース数: 200
住所: 〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-4-17

7. 常設展示場来場者数及び視察団体数



▼視察団体内訳

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国内	国・自治体関係者	51	92	36	45	32	45	23	11	26	32
	議会関係者	10	4	7	7	9	8	3	0	0	6
	商工団体関係者	20	20	6	5	5	14	6	0	0	5
	小中高等学校	5	3	3	6	6	5	4	3	1	1
	大学・専門学校	28	13	19	21	19	15	11	4	11	10
	企業関係者	227	191	210	280	331	282	284	251	238	246
国内小計		341	323	281	364	402	369	331	269	276	300
海外	アジア	43	34	52	59	68	50	52	1	0	10
	欧米・その他	21	9	6	10	8	21	17	1	0	4
	政府機関	3	1	4	4	6	0	1	0	4	0
	海外小計	67	44	62	73	82	71	70	2	4	14
合計		408	367	343	437	484	440	401	271	280	314

8. MOBIO-Cafe(Meeting)

■事業概要等

MOBIO-cafe

ものづくりとヒトをツナグ場

「MOBIO-Cafe」は、MOBIOが企画するセミナーやワークショップ、プレゼンイベントの総称です。
ものづくり企業の新しい出会いの場を創出することを目的に、様々なテーマ、メンバー、スピーカーで開催しています。



MOBIO-Cafe

企業ニーズに合わせたテーマで開催するセミナー・ワークショップ。

学びだけでなく、講師も含めた参加者同士の交流の場を提供しています。



MOBIO-Cafe-Meeting

MOBIO常設展示場の出展企業が自社ブースでスピーカーとなるプレゼンイベント。

第2部として開催する交流会も大勢の参加者が集まり、大好評です。

■出会いの場を提供します

中小ものづくり企業が普段、出会うことのない異業種、大学、大手メーカー、行政、団体などとの出会いの場を提供します。



セミナー



交流会

MOBIO-Cafeは、週1~2回のペースで開催しています。

みなさまの出会いの場を提供し、中小ものづくり企業の“変革と挑戦”をサポートします。

MOBIO-Cafeには、やる気のある若手経営者や現場の社員さんも多数参加されています。意欲のある方、奮ってご参加ください!

主な開催テーマ

- ▶ 企業の改革・挑戦事例
- ▶ 大学、高専、公設試の技術シーズ
- ▶ 海外展開支援
- ▶ 知的財産セミナー
- ▶ デザイン・コンテンツ連携
- ▶ 企業間連携
- ▶ 経営・生産管理



9. 大阪ものづくり優良企業賞

【事業概要】

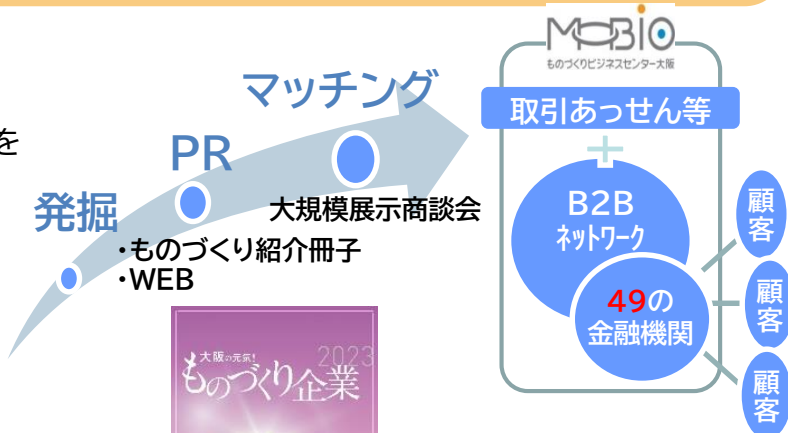
大阪府内に本社があり、製造業又は組込ソフトウェア業を主たる事業とするものづくり中小企業で「高度な技術力」「高品質・低コスト・短納期」など、総合力が高く、市場で高い評価を得ている企業を対象に、今後、基盤技術で大阪産業の活性化と地域社会への貢献が期待される優秀な中小企業を表彰しています。

◇大阪のものづくり看板企業『匠企業』

国内外から引き合いを呼び込むことを目的として、受賞された企業を大阪のものづくり看板企業『匠企業』と位置づけ、強力なプロモーションを展開します。

～匠ロゴマークの活用～

匠企業には匠ロゴマークをご使用いただき「元気な大阪の中小企業」としてPRを行っていただきます。



(知的財産部門賞を受賞された企業はあわせて「知」ロゴマークもご利用いただけます。)

～大阪のものづくり力を国内外にPR～
「大阪の元気！ものづくり企業」冊子の作成やWEB、展示会等にて受賞企業を強力にプロモート

優良企業賞の審査基準は右記5項目について審査します。自社の現状分析ができ、「自社の強み」が確認できます。

※知的財産部門に関する審査は、「知的財産の活用に関する事項」について別途審査を行います。
※「技術力評価」40点、「QCD評価」30点満点を中心に、50/100点以上の評価で優良企業賞に選定いたします。



～受賞企業の声～

- 受賞したことを営業ツールや会社案内に利用し、引き合いや開発案件が増加した！
- 展示会や会社案内、名刺等に「匠」ロゴマークを使用することで、年々知名度がアップした！
- 応募の際に、自社の現状分析や見つめなおしによる「自社の強み」の発見や知的資産の洗出しができた！

事業概要



○府内ものづくり中小企業の優れた技術に裏打ちされた、創造力にあふれる製品を大阪府知事が「大阪製ブランド製品」として認定する制度。認定を通じて、大阪のものづくりのブランドイメージを高めるとともに、自社製品開発の取組みを促進します。

⇒12年間で154製品を認定

ブランド認定されると

①「大阪製ブランド」ロゴマークの使用が可能

②プロモーション支援

- ・認定製品パンフレット(日英併記)を作成し、国内外に配布
- ・百貨店や商業施設などでの展示・販売
- ・プレスリリースやHP、SNS等による情報発信

～認定企業の声～

- ・新たな販売先の獲得につながった。
- ・認知度が上がり、販売増につながった。
- ・既存の販売先との取引が増加した。仕入・外注先との関係が強まった。

【認定の対象となる製品】

- ・消費財(一般消費者を対象として販売する最終製品)であること(食品を除く)
- ・応募企業が主体的に企画・設計・製造した製品で製造拠点(自社以外の協力工場でも可)が原則大阪府内にあること 等

【対象企業等】

- ・大阪府内に本社及び製造拠点(自社工場または協力工場)を有する中小企業者
- ・大阪府が実施するプロモーション活動に積極的に参加できること

令和5年度 主な「大阪製ブランド」認定製品



絵本のパズル おおきなかぶ / CRAFT BIRD WOOD



サイレントアンブレラ
丸安洋傘株式会社



FXT040 3DSOX
トラックモデル ソルテーレ
コーマ株式会社



ホームページ



Twitter



Instagram

11. ビジネス・マッチング支援

・「取引あっせん事業」によるビジネスマッチングは下請・ものづくり企業の受注確保・販路拡大を目的として全国において実施。
・「B2Bネットワーク事業」並びに「ビジネスマッチング推進事業」は幅広く、きめ細やかな中小企業販路開拓のため、大阪独自の仕組みとして実施。

取引あっせん事業

- ・ 受発注企業登録制によるビジネスマッチング
（登録企業：発注企業約3,500社、受注企業約4,500社）
- ・ 仕様、単価、ロットの明らかな発注案件が対象
- ・ 発注に対応できる企業を登録企業から探索し随時紹介

【セールスポイント】

量産・試作を中心に即時性のあるマッチングを実施

【コーディネーターの役割】訪問、DM、電話等による日常的な発注案件の探索、中小企業の受注能力の把握、登録企業の発掘

- ・ 昭和45年に制定された下請振興法に基づく、ビジネスマッチング
- ・ サプライチェーンの再構築や中小企業の廃業・移転が進むなか、ベーシックなマッチングの仕組みとして機能

B2Bネットワーク事業

- ・ 49の金融機関と連携し、国内外からの発注情報を金融機関の顧客企業に提供することを通じたビジネスマッチング
- ・ 仕様、ロットの不明確な条件にも対応/発注企業と受注企業の幅広いビジネスマッチングの場を創出

【セールスポイント】

金融機関の顧客との幅広いマッチングを実施

【コーディネーターの役割】国内外の大型展示会で発注企業を開拓、発注案件情報を金融機関向けに調整、金融機関からの受注可能企業を仲介

- ・ より幅広いマッチング機会の提供を目的に平成21年度に創設
- ・ 優良企業賞による企業発掘と展示会での営業による引き合いの獲得によりビジネスマッチングを実施

ビジネスマッチング推進事業

- ・ 技術課題を抱えたマッチング案件や複数の中小企業の技術の組み合わせによるマッチング
- ・ 仕様、単価、ロットの不明確な案件にも対応

【セールスポイント】

上記2事業ではフォローできない難マッチング案件に対応

【コーディネーターの役割】発注者へのヒアリング、受注企業の探索、知的財産の保護、取引・契約条件の精査、交渉の場への立ち合い

- ・ 1対1の企業のマッチングで済まない案件や技術課題を含む案件に対応するために平成23年度に創設

12. 知的財産活動支援

INPIT-KANSAIをはじめ、様々な支援機関と連携して、企業の知財活用度やニーズに応じた支援を実施しています。

MOBIO「知的総合支援窓口」(常設)

「INPIT知財総合支援窓口」をMOBIOに設置。必要に応じて、MOBIO「知財サポートチーム」につなぐ。

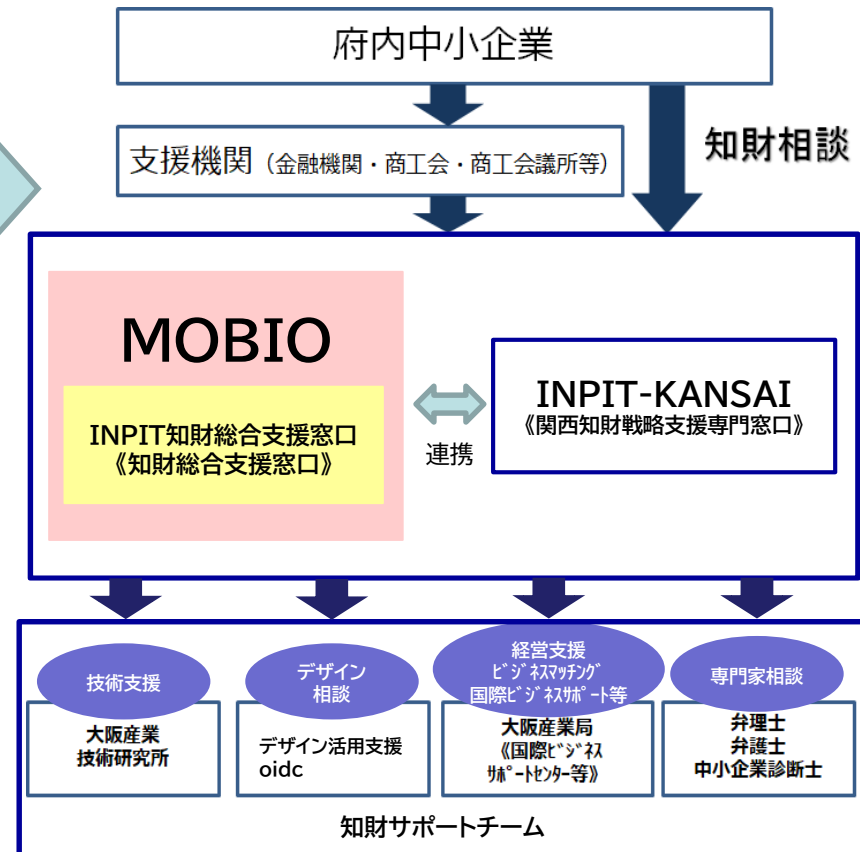
MOBIO「知財サポートチーム」

「INPIT知財総合支援窓口」と連携し、技術相談やデザイン相談など関係機関と協力し、総合的にサポート。企業訪問も実施。

INPIT-KANSAIとの連携

「INPIT-KANSAI((独)工業所有権情報・研修館 近畿統括本部)」が、平成29年7月31日、グランフロント大阪(大阪市)にオープン。

- 知的財産に関する高度・専門的な相談
(海外展開における知財活用、営業秘密管理・知財戦略)
- 特許庁審査官による出張面接審査・テレビ面接審査
- 高度検索閲覧端末による公報等閲覧サービス



技術的な課題を解決し、事業化に結び付けたい企業(産)と
先進的な研究成果をものづくり分野で実用化したい大学・高専(学)の連携・協力を推進



【産学連携オフィスの取組み】

産学連携相談の対応 / 展示商談会への出展等
大学の共催による技術交流イベント・セミナーの開催



【MOBIOと連携している大学・高専】

大阪工業大学 / 大阪産業大学 / 大阪商業大学 / 神戸芸術工科大学 / 大阪電気通信大学 / 大阪公立大学
東北大学 / 関西大学 / 近畿大学 / 同志社大学 / 龍谷大学 / 奈良先端科学技術大学院大学 / 立命館大学
熊本大学 / 大阪大学 / 関西学院大学 / 摂南大学 / 鳥取大学 / 兵庫県立大学 / 甲南大学 / 福井大学 / 阪南大学
和歌山大学 / 金沢工業大学 / 京都工芸繊維大学 / 石川県立大学 / 富山大学 / 神戸大学 / 日本大学
滋賀県立大学 / 奈良教育大学 / 奈良女子大学 / 京都先端科学大学 / 奈良工業高等専門学校
大阪公立大学工業高等専門学校 / 神戸市立工業高等専門学校 / 米子工業高等専門学校
和歌山工業高等専門学校 / 国際高等専門学校

(29大学・6高専)

14. ものづくりイノベーション推進事業

ものづくり企業のイノベーションを創出するため、産学官の支援機関・ものづくり企業で構成する「**大阪ものづくりイノベーションネットワーク**」を通じ、新たな技術開発をプロジェクトの創出から事業化までを支援します。

「大阪ものづくりイノベーションネットワーク」

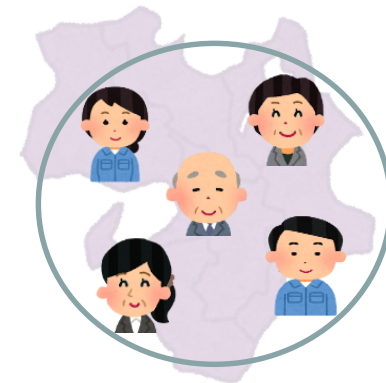
<会員数(R6年3月31日現在)>

企業会員 : 1,485社 (府内外のものづくり企業)

支援機関会員: 293機関 (府内外の大学や金融機関、技術開発支援団体など)

<入会メリット>

- ・メールマガジンの配信(週1回程度。国等の助成金や技術関連イベント等の情報を提供)
- ・技術交流イベントで企業と支援機関・大学等との情報交換
- ・会員の技術開発プロジェクトの立ち上げを支援(⇒「ものづくりイノベーション支援助成金」)



「ものづくりイノベーション支援助成金」

中小企業の新たな技術開発の取組みを「ものづくりイノベーション支援プロジェクト」として認定し、そのプロジェクトに基づき実施する研究開発や設計・試作などの取組みに必要な経費の一部を助成します。

産学連携枠	中小企業者が自らの技術を活用して行う新たな製品や技術の開発等のうち、大学または国立研究開発法人や(地独)大阪産業技術研究所などの公設試験研究機関等と連携するもの ※新たな製品・技術開発を伴うものに限る	上限 200万円	助成率 1/2 以内
基盤技術開発枠	新たな製品・技術を開発するもの	上限 150万円	

■事業概要

府内中小企業のDX推進に向けて、経験豊富なDX推進コンサルタント派遣による企業の課題整理やDX推進体制の構築などの伴走支援、DX人材育成のきっかけとなるセミナーを開催しています。

企業が具体的なアクションを起こせるようにサポートすることで、府内中小企業の生産性向上や競争力強化をめざしています。

MOBIO DX推進サポートの流れ

01 申し込み



MOBIO HPから
お申込みください

02 日時の決定



候補日程を
ご連絡いたします

03 DX相談



大阪産業創造館へのご来館
またはオンラインにて
実施します

04 DX推進 コンサルタント派遣



DX相談の内容に応じて
実施します

○DX相談

経験豊富なDX推進コンサルタントが貴社の経営状況をヒアリングし、DX実現に向けた課題解決のアドバイスを行います。自社の課題の把握や可視化をすることができ、DX実現の第一ステップとして活用いただけます。

○DX推進コンサルタント派遣

DX相談の内容に応じて、貴社にDX推進コンサルタントを派遣します。

コンサルタントが実際に現場等を見ながら、業務課題の整理や社内のアナログ業務(手書き等)の見直し、業務改善のためのプロジェクトチームの発足など、DX実現に向けた支援を行います。

○DX推進セミナー

多くの企業が抱える「業務改善に取り組みたいが何から始めたらよいかわからない」、「業務のデジタル化を進めたいがITに詳しい人材がない」などの課題解決のきっかけとなるさまざまなセミナーを開催しています。